

Libra

<http://www.tokeikyo.or.jp/kcon/>

Libra Vol. B001
2005年7月1日発行

発行/岩下貞治 東京都計量器コンサルタント協会
〒105-0022 東京都港区海岸1-7-4 東京都計量検定所内
TEL 03-3434-6591 FAX 03-3434-6592

----- CONTENTS -----

”Libra”再発刊に当って -----
平成17年度事業予定 -----
第1回技術研修会 -----
役員会報告 -----
リサイクル法施行の現状 -----
計量器の歴史(温度計) -----
会員の広場 -----
会員紹介・川柳募集

東京都計量器コンサルタント協会会報

”Libra”再発刊に当って



会長 岩下 貞治

会員諸氏におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は当協会の事業運営に格別のご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

会員情報伝達の一環として、ミニ情報誌リブラ1号を発行したのは昭和59年のことでした。平成10年の27号まで刊行を続けましたが、諸般の事情で一時、発行を中止せざるを得ない状況になりました。

研修会、見学会等の案内によってその都度、協会事業を知ることは出来ますが、事前に参加予定を組んでいただくためにもリブラは必要でした。

コンサルタント有資格者は日頃より知識、技能の向上

平成17年度事業予定

1. 研修会の開催 2回程度

* JIS法改正を受けて 今後の見通し

* 検定検査規則JIS化による影響は？

2. 東西計コン合同研修会

17年度は関西が開催担当(10月14～15日予定)

3. 見学会 8月～9月に開催

4. 精度確認事業等東京都の行う普及啓発事業への協力強化、出前計量教室への協力など

5. 関東甲信越ブロック大会への協力(10月4日)

6. 都民計量のひろばへの協力(11月1日)

* 今後の予定は、計コン資格取得研修会の実施へ向けたバックアップ体制の充実。

第1回技術研修会が開かれます

日時 平成17年7月27日(水)午後1時30分より

会場 東京都計量検定所 B会議室

テーマ 産業廃棄物管理システム

協力 (株)寺岡精工 生活環境事業部

第1回研修見学会を予定しています

日時 平成17年9月7日(水)

会場 (株)コーサー(化粧品)

埼玉県農林総合研究センター-茶業特産研究所

上に励み、計量のスペシャリストとして信頼を得るための研鑽が必要です。

今回、担当役員の努力によって装いを新たに、会員情報誌として会報Libraを復刊発行する運びとなりました。研修見学会、技術研修会、法令関係、その他の事業等々をお知らせすると共に、肩のこらない欄も掲載し、読後に「楽しめた」「参考になった」と感じていただける内容を検討しているようです。

会員皆様がこの会報を十分に活用され、当会事業に極力参加の上、ご協力をいただくようお願いを申し上げます。

発行作業に携わる担当役員の皆様に、改めて厚くお礼を申し上げ、復刊によせる言葉とさせていただきます。



総会で真剣に討議する様子(2月24日)

<<<平成17年度 役員会報告>>>

第1回

2月4日(金)午後5時30分より

計量検定所 B会議室 出席者 13名

* 総会準備、新役員候補、分担等打ち合わせ

第2回

3月23日(水)午後5時30分より

計量検定所 B会議室 出席者 12名

* 新役員会構成について 役付理事留任を決定、事業担当分担、常任理事会構成等を審議

* 17年度事業、運営方針について、技術研修会、見学会等企画案等審議

第3回

5月12日(木)午後5時30分より

計量検定所 B会議室 出席者 14名

技術研修会・見学会の時期と候補を具体的に審議
Libraの編集方針の承認

リサイクル法施行の現状

近年、ますます世界的な関心が高まっている地球環境問題については、各国で様々な取り組みが進んでいます。わが国においても、1993年11月に環境基本法が制定され、それに基づいて1994年12月には環境基本計画が、そして2000年12月には、さらに新たな環境基本計画が策定され、地球環境保全のための取り組みが国、自治体、事業者、消費者の各主体で展開されています。

- 1)事業者による製品の回収・リサイクルの実施などリサイクル対策を強化するとともに、
- 2)製品の省資源化・長寿命化等による廃棄物の発生抑制(リデュース)対策や、
- 3)回収した製品からの部品等の再利用(リユース)対策を新たに講じ、また産業廃棄物対策としても、副産

物の発生抑制(リデュース)、リサイクルを促進することにより、循環型経済システムの構築を目指すものです。これらの目標を実現するため以下の分野の法律が制定され、具体的な規制、取り組みが求められています。

- * 容器包装リサイクル法
平成7年制定 平成8年施行
- * 家電リサイクル法
平成10年6月制定 平成13年4月施行
- * 建設リサイクル法
平成12年5月制定 同年11月施行
- * 食品リサイクル法
平成13年5月制定 18年度までに再利用率20%達成を目標
- * 自動車リサイクル法
平成17年1月本格施行
- * 資源有効利用促進法
平成12年5月制定 平成13年4月施行

計量器の歴史 - - - 温度計

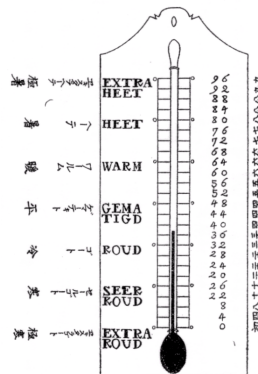
ガラス製温度計を日本で初めて製作した人物は誰でしょうか？

江戸時代のマルチ人間「平賀源内」です。

源内はエレキテルの発明などでよく知られていますが、彼はオランダ渡りのタルモメイトル(寒暖計)を見て1768(天明8年)自分で製作して知人に配っていた。日本製としては最初のものであったが、現在1本も残っていない。ただし現品に添えて配った「寒熱昇降図並びに訳文」とする案内状が残されている。この図の温度目盛りはファーレンهایت、つまり今で言うF目盛である。日本でセルシウス()は明治に入ってから導入されている。

ちなみに、平成15年11月から16年1月に開催された「計量いまむかし展」に、東日本計量器工業協同組合がこの寒暖計を復元して製作している。ただし、現品は存在しないのでこの「寒熱昇降器」を「参考製作品」として展示して好評を得ている。

温度計研究会 横中賢次郎



「寒熱昇降図並びに訳文」にある寒暖計(左)
復元され「計量いまむかし展」に出展された寒暖計(右)



・会・員・の・広・場・



堀越淳史
共栄衡器(株) 営業係長
42歳
5年
読書
勉強・情報交換の場
販売事業者で唯一の
資格

計量器コンサルタントの資格を取得して5年が経過しました。日常の仕事は常にユーザーの立場になり、計量士並みの知識と経験でISOやAIB、HACCP等の相談やサービス業務を行うとともに、今ユーザーは何を必要としているのか、どのような「はかり」を勧めるのがベストなのか、コンサルタントとして誇りと自信を持ってアドバイスでき、安心を提供してユーザーから信頼され、喜ばれています。

また、東京都計量器コンサルタント協会で作成した「推奨マーク制度」のシールに自分の会員番号、名前を入れるからには、その「はかり」のすべてを知っておく責任があり、自己啓発にもつながっています。

身に付けた知識と資格を活用し、常にプロの自覚を持ちながら営業活動をしています。

会員紹介

氏名
所属・役職
年齢
会員歴
趣味
計コンとは
ひとこと



内田健太郎
(株)三友産業社 営業
27歳
4年
ピリヤード 水泳
計量器販売に関する
情報交換・交流の場
日々の営業に追われて

いる私ですが、計コンに入会して4年になります。その間、メラー様、田中衡機様の技術研修に参加させていただいて営業の一助になっています。総会にも参加し懇親を深めています。これからも計コンの発展をお祈りいたします。

募集

川柳

「川柳」を募集しています。
五・七・五で遊ばせんか。
お題は「計量」と「無題」で。

** 編集後記 **

Libraもいよいよリニューアルされ話題も豊富になりました。会員皆様の役に立つ情報を数多く提供して行きたいと思っております(S)

話題も豊富になり、皆様に喜ばれる情報誌にしたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いいたします(K)

再発刊ということでプレッシャーを感じましたが、期日に発行できてホッとしています。事務局に多大なご協力いただきました(U)